

ラナセット染料は特に、羊毛を染色するために開発された染料です。絹にも同様に使用出来ます。

羊毛を化学的に損傷させない処方での染色でき、含金属酸性染料並の高堅牢度を持ち、特に、染着特性の似通った染料群ですので濃度オーバーの染料が入っていて、希望濃度になって、染色途中で引き上げても、希望の色目に近くなります。他の染料の配合では、染着特性がおのおの異なるので、染料が全て布に吸収されない状態では、途中で引き上げると色目が希望の色目と異なることがあります。又、ラナセット染料の特性そのままに、絹の浸染にも使用出来ます。

**【ラナセット染料による浸染】**

—必要な染料、染浴、助剤-ラナヒット 15（ラナセット染料専用の均染、吸収促進剤です）の決定—  
 染色物の重量を計り、染浴の水の量、染料の量、助剤の量を決定します。下記は全て染色物の重量に対しての計算になります。

水の量（染浴）——30倍～40倍

染料の量——淡色で0.3%、中色で1%、濃色で3% ブラックのみ5%必要

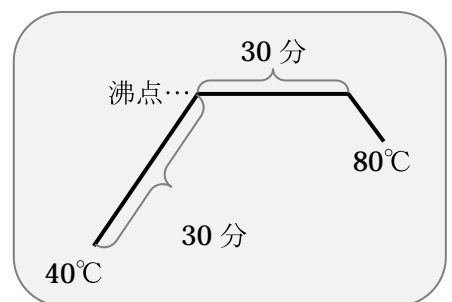
ラナヒット15——15%

**100gの布・糸に対する染料、染浴=水、ラナヒットのおおよその目安**

染色濃度	染料量	染浴=水	ラナヒット
淡色	布、糸の重量の0.3% の染料で0.3g	3～4リットル	15g
中色	布、糸の重量の1% の染料で1g	3～4リットル	15g
濃色	布、糸の重量の3% の染料で3g	3～4リットル	15g

—羊毛・シルクの浸染工程—

- 40℃から染色を始めます。染料を10倍程度の熱湯で溶解した液と、ラナヒット15を、計量した染浴に加えます。
- 別の浴で羊毛を水またはぬるま湯で湿潤し、脱水した後、染浴に静かに入れます。30分位で摂氏90～100度にします。
- 摂氏90～100度で30分煮染します。
- 加熱を終わり、摂氏80度になるまでそのまま放冷します。
- 引き上げ、完全に冷ました後、脱水し、水洗→脱水→乾燥させます。



\*必要ならば、染色後、酸くり（蟻酸を使用）・フィクス処理（シルクフィックス3A使用）・柔軟処理（ネオソフターSX使用）をします。

